

科目	都市工学実験実習 (Laboratory Work in Civil Engineering)		
担当教員	柿木 哲哉 教授, 水越 睦視 教授, 高科 豊 准教授, 宇野 宏司 教授, 小塚 みすず 准教授, 田島 喜美恵 准教授		
対象学年等	都市工学科・5年・通年・必修・3単位 (学修単位I)		
学習・教育目標	A4-S2(10%), B1(10%), C1(40%), C4(30%), D1(10%)	JABEE基準	(b),(d),(e),(f),(g),(h),(i)
授業の概要と方針	水理学,材料学,衛生工学,交通計画学,デザイン工学など都市工学の実験をともなう応用分野の一層の理解を深めるため,各分野の実験・実習を3班編成の少人数のグループで行う。各種実験実習を班員と協力しながら行うことで,チームワーク力や協調性を養う。また,シミュレーションやコンピュータ演習,模型の製作等で各専門分野の理論の理解と実際問題への応用能力を養う。		
	到達目標	達成度	到達目標別の評価方法と基準
1	【A4-S2】水理学に関する実験ができるようになるとともに,実験目的と結果の活用を理解できる。		水理学に関する実験を行い,1週間以内に設定されたレポートの提出状況および内容により評価する。
2	【B1】実験内容について,的確な図・表を用いて文章や口頭で説明できる。		各自に与えられた課題に関する報告書等の文章や発表会で評価する。
3	【C1】実験結果を適切に処理し,計算書,図・表等にまとめ,得られた結果に対する考察を書ける。		各実験の課題や報告書(レポート)で評価する。
4	【C1】コンクリートの物性試験を行うことができるとともに,得られた結果を分析できる。		コンクリートの物性に関する試験を行い,レポートの提出状況および内容により評価する。
5	【C1】各種の水質検査ができるようになるとともに,得られた結果を分析できる。		各種の水質に関する検査を行い,1週間以内に設定されたレポートの提出状況および内容により評価する。
6	【C1】交通実態調査ができる。交通環境の改善案を検討し,設計できる。		交通実態調査のデータ整理,交通環境改善案を検討し,レポートおよび成果物の内容により総合的に評価する。
7	【C4】住まいのデザインができる。		高齢者夫婦,3世代の住まいの図面・模型製作,レポートの提出,成果の発表会により評価する。
8	【C4】班の構成員と協力して実験を行うことができる。		班の構成員と協力して実験が行なわれているか,各実験の遂行状況で評価する。
9	【C4】決められた期限内に実験報告書を書ける。		実験ごとの報告書(レポート)ならびに課題の提出状況で評価する。
10	【D1】設備・機器・装置等の取り扱いに注意し,安全に実験を遂行することができる。		設備・機器・装置等の取り扱いに注意し,安全に実験が行なわれているか,各実験の遂行状況で評価する。
総合評価	成績は,課題100%として評価する。ただし,デザインのみ図面・模型・発表80% レポート20% として評価する。総合評価は100点満点で60点以上を合格とし,各実験の合格基準を60点以上とする。総合評価の内訳は水理33%,コンクリート・衛生・交通計画・デザインを16.5%とする。提出期限が守られていない課題は評価しない。未提出課題がある場合は成績を評価しない。		
テキスト	「土木材料実験指導書 2015年度版」:土木学会編(土木学会) 「水理実験解説書 2015年度版」:土木学会編(土木学会) 「環境工学」:石井一郎(森北出版)		
参考書			
関連科目	水理学,材料学,コンクリート工学,構造力学,都市環境工学,環境水工学I,環境水工学II,都市交通計画学,建築計画,景観工学		
履修上の注意事項	クラスを3班の少人数に編成し各実験を受講する。水理は通年,材料・交通計画,衛生・デザインは前期または後期に履修する。安全管理に徹し,相応しい服装で臨むこと。実験実習はチームワーク(班別)で実施することが多いため,個別の再実験は認められない。そのため,出席することが原則である。		

授業計画(都市工学実験実習)

	テーマ	内容(目標・準備など)
1	前期実験ガイダンス	水理学(前期)・コンクリート・計画学各実験の予定,班割,注意事項など,実験前のあらゆる問題点について,事前説明を行う。
2	水理学(前期)・コンクリート・交通計画学実験	開水路(1)・相対的静止水面の実験,スランプ試験・空気量試験,交通実態調査(1)。
3	水理学(前期)・コンクリート・交通計画学実験	開水路(1)・相対的静止水面の実験,スランプ試験・空気量試験,交通実態調査(1)。
4	水理学(前期)・コンクリート・交通計画学実験	開水路(1)・相対的静止水面の実験,スランプ試験・空気量試験,交通実態調査(1)。
5	水理学(前期)・コンクリート・交通計画学実験	開水路(1)・相対的静止水面の実験,スランプ試験・空気量試験結果の考察,交通実態調査(2)。
6	水理学(前期)・コンクリート・交通計画学実験	開水路(1)・相対的静止水面の実験,スランプ試験・空気量試験結果の考察,交通実態調査(2)。
7	水理学(前期)・コンクリート・交通計画学実験	開水路(1)・相対的静止水面の実験,スランプ試験・空気量試験結果の考察,交通実態調査(2)。
8	前期中間実験のまとめ	水理学(前期),コンクリート,交通計画学各実験のレポートおよび実験器具の整理と整備。
9	水理学(前期)・コンクリート・交通計画学実験	開水路(2)・管水路の実験,繊維補強コンクリートの配合試験,交通環境の調査。
10	水理学(前期)・コンクリート・交通計画学実験	開水路(2)・管水路の実験,繊維補強コンクリートの配合試験,交通環境の調査。
11	水理学(前期)・コンクリート・交通計画学実験	開水路(2)・管水路の実験,繊維補強コンクリートの配合試験,交通環境の調査。
12	水理学(前期)・コンクリート・交通計画学実験	開水路(2)・管水路の実験,繊維補強コンクリートの靱性試験,交通環境の設計。
13	水理学(前期)・コンクリート・交通計画学実験	開水路(2)・管水路の実験,繊維補強コンクリートの靱性試験,交通環境の設計。
14	水理学(前期)・コンクリート・交通計画学実験	開水路(2)・管水路の実験,繊維補強コンクリートの靱性試験,交通環境の設計。
15	前期実験のまとめ	水理学(前期),コンクリート,交通計画学各実験のレポート作成および実験器具の整理と整備。
16	後期実験ガイダンス	水理学(後期),衛生工学,デザイン各実験の予定,班割,注意事項など,実験前のあらゆる問題点について,事前説明を行う。
17	水理学(後期)・衛生工学・デザイン実験	相対的静止水面の理論的検討,水質測定(1),高齢者住まいのデザイン(1)。
18	水理学(後期)・衛生工学・デザイン実験	相対的静止水面の理論的検討,水質測定(1),高齢者住まいのデザイン(1)。
19	水理学(後期)・衛生工学・デザイン実験	相対的静止水面の理論的検討,水質測定(1),高齢者住まいのデザイン(1)。
20	水理学(後期)・衛生工学・デザイン実験	開水路流れの理論的検討(1),水質測定(2),高齢者住まいのデザイン(2)。
21	水理学(後期)・衛生工学・デザイン実験	開水路流れの理論的検討(1),水質測定(2),高齢者住まいのデザイン(2)。
22	水理学(後期)・衛生工学・デザイン実験	開水路流れの理論的検討(1),水質測定(2),高齢者住まいのデザイン(2)。
23	後期中間実験のまとめ	水理学(後期),衛生工学,デザイン各実験のレポートおよび実験器具の整理と整備。
24	水理学(後期)・衛生工学・デザイン実験	管水路流れの理論的検討,水質測定(3),3世代住まいのデザイン(1)。
25	水理学(後期)・衛生工学・デザイン実験	管水路流れの理論的検討,水質測定(3),3世代住まいのデザイン(1)。
26	水理学(後期)・衛生工学・デザイン実験	管水路流れの理論的検討,水質測定(3),3世代住まいのデザイン(1)。
27	水理学(後期)・衛生工学・デザイン実験	開水路流れの理論的検討(2),ジャーテスト,3世代住まいのデザイン(2)。
28	水理学(後期)・衛生工学・デザイン実験	開水路流れの理論的検討(2),ジャーテスト,3世代住まいのデザイン(2)。
29	水理学(後期)・衛生工学・デザイン実験	開水路流れの理論的検討(2),ジャーテスト,3世代住まいのデザイン(2)。
30	後期実験のまとめ	水理学(後期),衛生工学,デザイン各実験のレポート作成および実験器具の整理と整備。
備考	中間試験および定期試験は実施しない。	